

日本防犯設備協会 RBSS 基準（優良防犯機器認定基準）

RBSS 0004-10

LED 防犯灯認定基準 別冊

Certification Standard for Crime Prevention Light with LED

2014 年（平成 26 年）5 月 7 日 制定

2014 年（平成 26 年）7 月 30 日 改正

2014 年（平成 26 年）9 月 4 日 改正

2014 年（平成 26 年）10 月 10 日 改正

2014 年（平成 26 年）12 月 3 日 改正

2015 年（平成 27 年）10 月 9 日 改正

2016 年（平成 28 年）12 月 2 日 改正

2018 年（平成 30 年）8 月 8 日 改正

2019 年（令和元年）9 月 17 日 改正

2025 年（令和 7 年）6 月 1 日 改正

公益社団法人 日本防犯設備協会

はじめに

本書（LED 防犯灯認定基準 別冊）は、総括表、技術報告書第 1 章、同第 3 章、同第 5 章、同第 6 章について、RBSS 認定申請に必要な内容及び書式や技術報告書をまとめたものです。申請にあたっては、本書式を使用して「技術報告書」を作成してください。

技術報告書 5 要求事項 については、必要な要求内容、試験方法、及び合否判定条件等を性能項目ごとに記載しています。

目 次

技術報告書	総括表	1
技術報告書	1 適用範囲	2
	3 標準構成	3
	5 要求事項（防犯機能・防犯性能に係る内容について）	4
	6 表示	21
付属資料	技術解説資料サンプル	23
	メディアン光束維持時間に関する説明資料	24
	耐久性に関する説明資料	28
	照度分布図作成における光源の中心と道路端との距離	31

技術報告書 総括表

年 月 日

RBSS 基準『LED 防犯灯認定基準』に基づき、申請区分及び機能を下記の通り申請します。
(レ印付記が該当する内容です。)

【申請区分】

1	申請区分	<input type="checkbox"/> ：新規、 <input type="checkbox"/> ：変更、 <input type="checkbox"/> ：更新
2	機器品目	LED 防犯灯
3	機種名（品名）	
4	型式（品番）	

【申請タイプ】

	項目	申請タイプ
1	電力会社申請入力容量	<input type="checkbox"/> ：10VA 以下、 <input type="checkbox"/> ：20VA 以下、 <input type="checkbox"/> ：40VA 以下
2	自動点滅機能	<input type="checkbox"/> ：あり、 <input type="checkbox"/> ：なし

各項目の技術報告書に関する測定結果・報告内容等は問題ないことを約して、下記の責任者押印欄に代表して押印します。

上記内容を申請いたします。 会 社 名： 部 署： 測定責任者：（電子入力で代用可：自筆不要）	測定責任者 押印欄
--	--------------

- 注記 ① 本総括表は、一型式一枚として作成する。
② 変更申請・更新申請においては、各項目の技術報告書の責任者押印欄は空白で可とする。
③ 申請時は、本別冊の書式や技術報告書の朱記の補足説明は削除する。

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊

技術報告書 1 適用範囲

機器品目：LED 防犯灯

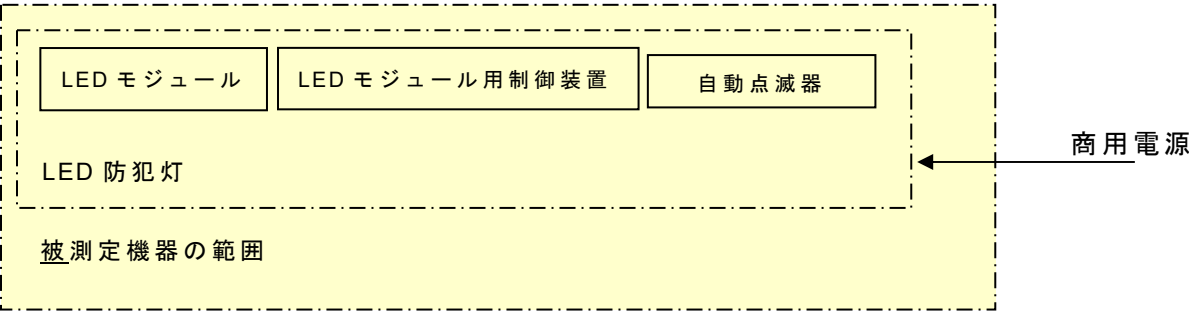
	適用範囲の内容	適用する欄 に○を記述	備 考
a	主に生活道路の屋外に設置されるもの		屋外照明器具が対象です。
b	光源が白色系 LED であること		
c	LED モジュール及び LED モジュール用 制御装置を内蔵していること		
d	口金を有しないもの		口金を有して、LED 照明ランプが 交換できる器具は対象外です。
e	センサ付きライトではないこと		人感センサ機能が含まれるものは 対象外です。

技術報告書 3 標準構成（申請対象のシステム構成例）

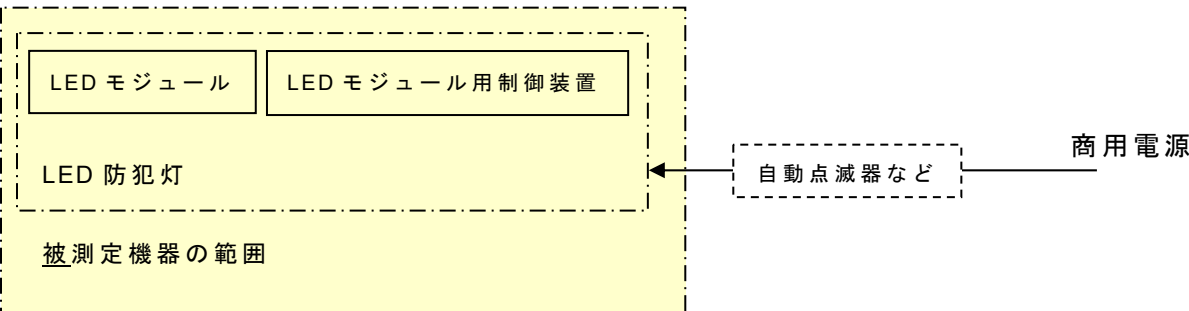
3.1.1 標準構成

本申請の構成図は、下記の構成ブロックの組合せに基づきます。（**レ印付記**が該当する構成です。）

☐ 自動点滅機能を有するもの



☐ 自動点滅機能を有しないもの



RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊

技術報告書 5 要求事項（防犯機能・防犯性能に係る内容について）

5-1 性能項目

以下の性能項目は共通機能なので、全項目について、本書 5 頁以降の技術報告書に記入して提出する。

項番	共通機能（必須事項）
5.3.1	固有エネルギー消費効率
5.3.2	器具光束
5.3.3	光源色
5.3.4	演色性
5.3.5	設置間隔性能及び照度基準
5.3.6	上方光束比
5.3.7	自動点滅性能
5.3.8	メディアアン光束維持時間
5.3.9	耐久性
5.3.10	耐サージ性能
5.3.11	安全性
5.3.12	高調波
5.3.13	部品

5-2 作成にあたって

5-2-1 RBSS 測定・評価方法

RBSS 測定・評価方法に関する前提条件を記載する。

(1) 測定条件の共通事項

測定条件及び通常の動作試験などについては、下記のとおりとする。

- ① 測定条件の被測定機器は、“工場出荷状態”を基本とする（個別に設定条件がある場合は、各項目の記述に基づくこと）。
- ② 標準試験状態
 - a) 周囲温度 : 5～35℃ JIS 常温
 - b) 湿度 : 45～85% JIS 常湿
 - c) 設置方法 : 付属された説明書に従って行うこととする。

③ 試験方法

特に指定無き場合は、定格入力出力状態にて行うこととする。

④ 測定器など

測定に使用する装置は、校正年月又は購入年月などが明確で、各々管理したものを使用すること。

⑤ 測定結果数値など

- ・結果数値は実測値とする。仕様書などに記載の標準数値と違う場合には標準数値も併記する。
- ・技術報告書の基準値の記載方法の統一表現：小数点以下は 1 あるいは(2)桁とする。
- ・表示値とは、現物、カタログ、販促物等に表記している値の事をいう。
- ・技術報告書以外に必要に応じて技術解説資料を添付する。

(2) 被測定機器の適用範囲について

被測定機器の範囲は、「LED 防犯灯認定基準 3 標準構成」に示す範囲とする。

(3) RBSS 測定・評価方法の参考・引用規格

- ・RBSS 測定・評価方法の策定に際し、参考及び引用したものは“5-2-2 関連規格”のとおりである（詳細な対応箇所は割愛する）。

(4) 技術報告書の項目の中で、安全に関する事項として電気用品安全法や JIS C 8105-1 は適合することは当然なので、性能項目ごとに技術解説資料を要求していない。

5-2-2 関連規格

一般社団法人 日本照明工業会 高品質 LED 防犯灯の性能要求指針(第2版)(以下 JLMA 性能要求指針と言う。)

SES E 0001 防犯に関する用語

SES E 0004-5 (環境試験規格):2020

SES E 1901-4:2015(防犯灯の照度基準)

JIS C 1609-1:2006 照度計 第1部:一般計量器

JIS C 8105-1:2021 照明器具—第1部:安全性要求事項通則

JIS C 8105-3:2024 照明器具-第3部:性能要求事項通則

JIS C 8105-5: 照明器具—第5部:配光測定方法

JIS C 8152-3: 照明用白色発光ダイオード(LED)の測定方法-第3部:光束維持率の測定方法

JIS C 8153: LED モジュール用制御装置—性能要求事項

JIS C 8155 一般照明用 LED モジュール—性能要求事項

JIS C 8369 光電式自動点滅器

JIS C 61000-3-2:電磁両立性—第3-2部:限度値—高周波電流発生限度値(一相当たりの入力電流が20A以下の機器)

JIS C 61000-4-5:電磁両立性—第4-5部:試験及び測定技術—第5節:サージコミュニティ試験

JIS Z 9112 蛍光灯・LEDの光源色及び演色性による区分

5-2-3 性能項目別の作成要領の注意点

No	項 目	作成要領 (下記に基づき作成すること)	備 考
1	測定日	測定年月日を具体的に記述すること	最大 12 ヶ月以内
2	会社名、部署	記載内容の漏れが無いように記載すること	電子入力を可とする。
3	性能項目	記載内容の漏れが無いように記載すること	
4	測定器一覧	測定に使用した測定器をすべて記載し、測定器の校正年月(計測計量法に基づく自主基準とする)や購入年月もすべて記載すること	上段:校正年月 下段:括弧をつけて購入年月 (測定ソフトウェア等は購入年月を記入。)
5	総合評価	合格／不合格のうち、合格であれば○印をすること。	
6	機能表示書類	必要とされる提出書類を選択し、さらに提出書類の機能に関する頁の指示を行うこと。	7 の書類で記載がある場合に提出すること。 複数ページに記載している場合は、代表的な頁で可とする。
7	仕様書、取扱説明書、HP 掲載	提出書類に機能に関する頁の指示を行うこと。	複数ページに記載している場合は、代表的な頁で可とする。
8	責任者押印等	① 測定責任者の記述があること。 ② 測定責任者押印欄に押印すること(注意)測定責任者押印欄の押印については、技術報告書総括版の代表押印でも可とする。その場合の各報告書の本欄は空白とする。	① 電子入力を可とする。② 特に、変更申請等の場合は個別の技術報告書に押印すること

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.1 固有エネルギー消費効率	備 考																					
a)	LED 照明器具の固有エネルギー消費効率定格値(LED照明器具の器具光束の定格値を、定格消費電力で除した値)は、相関色温度 3800 K 以上は、100 lm/W 以上、相関色温度 3800 K 未満は、80 lm/W 以上であって、測定値は、定格値の 90 % 以上でなければならない。																						
b)	試験方法は、(1)JIS C 8105-3 の E.5.3 ⁽¹⁾ 、測定条件は、JIS C 8105-3 の附属書 F ⁽²⁾ による。 なお、JIS C 8105-3 の B.2 ⁽³⁾ に、“照明器具の電気特性の測定は、配光測定試験中に行うことが望ましい。”との記載があるので、防犯灯の皮相電力の確認に使う入力電流の測定も、配光測定と同時にすることが望ましい。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a) に適合する場合、合格とする。 注記 1 JIS Z 9112 ⁽⁴⁾ では、光源色の白色と温白色との境界が相関色温度 3800 K に対応している。 注記 2 光源色(色度座標)の色度偏差(d uv)が JIS Z 9112 の規定する昼光色～電球色の範囲を逸脱する場合は、省エネ法でいう特定エネルギー消費機器には該当しないが、このガイドでは相関色温度に対応して固有エネルギー消費効率を規定している。																						
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)	
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・表示値 () lm/W ・測定値 () lm/W () %																						
技術解説資料	・JISC8105-5 に基づいた配光データを測定した光度値データを添付します。																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー [] 技術解説資料等																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

注⁽¹⁾ JIS C 8105-3 の E.5.3 は、固有エネルギー消費効率である。注⁽²⁾ JIS C 8105-3 の附属書 F は、LED 照明器具の特性測定方法である。注⁽³⁾ JIS C 8105-3 の B.2 は、通常の動作状態における照明器具消費電力の測定である。注⁽⁴⁾ JIS Z 9112 は、蛍光ランプ・LED の光源色及び演色性による区分である。

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.2 器具光束		備 考																				
a)	器具光束を表示する場合、測定値は、定格値の 90%以上でなければならない。																						
b)	試験方法は JIS C 8105-3 の E.5.1 ⁽¹⁾ 、測定条件は、JIS C 8105-3 の附属書 F ⁽²⁾ による。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a)に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること (自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・表示値 ()lm ・測定値 ()lm ()%																						
技術解説資料	・JISC8105-5 に基づいた配光データを測定した光度値データを添付します。																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー [] 技術解説資料等																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)																						

注⁽¹⁾JIS C 8105-3 の E.5.1 の器具光束は JIS C 8155 8.1(光束)による。注⁽²⁾JIS C 8105-3 の附属書 F は、LED 照明器具の特性測定方法である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.3 光源色		備 考																				
a)	光源色の相関色温度は、1500 K～10000K の範囲であって、測定値の表示値との差異は、JIS Z 9112 ⁽¹⁾ の A.3(相関色温度の許容幅)に規定する式で計算した ΔT の範囲になければならない。																						
b)	光源色の相関色温度 T は、JIS C 8155 の附属書 A ⁽²⁾ によって、LED モジュールを測定する。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a)に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること (自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・表示値 ()K ・測定値 ()K ()%																						
技術解説資料	必要なし																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

注⁽¹⁾JIS Z 9112 の A.3 は、相関色温度の許容幅である。注⁽²⁾JIS C 8155 の附属書 A は、LED モジュール特性の測定方法である。

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.4 演色性		備 考																				
a)	演色性は、平均演色評価数 R_a が 65 以上であって、初期の測定値は表示値から 3 を減じた値以上でなければならない。注記 特殊演色評価数 R_9 は規定しない。																						
b)	試験方法は、JIS C 8155 の付属書 A ⁽¹⁾ によって、LED モジュールを測定する。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a) に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること (自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・表示値 R_a () ・測定値 R_a ()																						
技術解説資料	必要なし																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

⁽¹⁾ JIS C 8155 の付属書 A は、LED モジュール特性の測定方法である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																									
会 社 名:																												
部 署:																												
性 能 項 目	共通機能 5.3.5 設置間隔性能及び照度基準		備 考																									
a)	電力会社申請入力容量ごとの（公社）日本防犯設備協会技術基準 SES E 1901-4:2015 （防犯灯の照度基準）の解説に記載の設置間隔性能は、次の表に示す値を満足しなければならない。ただし、照度基準のクラスは、 B⁺ を適用する。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>電力会社申請入力容量</th> <th>クラス B⁺ の設置間隔</th> <th>注 従来光源との対比表記・呼び名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 VA 以下</td> <td>12 m 以上</td> <td>ランク SS 以上</td> </tr> <tr> <td>20 VA 以下</td> <td>17 m 以上</td> <td>ランク S 以上</td> </tr> <tr> <td>40 VA 以下</td> <td>22 m 以上</td> <td>ランク M 以上</td> </tr> </tbody> </table>		電力会社申請入力容量	クラス B⁺ の設置間隔	注 従来光源との対比表記・呼び名	10 VA 以下	12 m 以上	ランク SS 以上	20 VA 以下	17 m 以上	ランク S 以上	40 VA 以下	22 m 以上	ランク M 以上														
電力会社申請入力容量	クラス B⁺ の設置間隔	注 従来光源との対比表記・呼び名																										
10 VA 以下	12 m 以上	ランク SS 以上																										
20 VA 以下	17 m 以上	ランク S 以上																										
40 VA 以下	22 m 以上	ランク M 以上																										
b)	試験方法は、 JIS C 8105-5⁽¹⁾ によって測定した光度値を使い、 SES E 1901-4:2015 の解説に記載の条件で設置間隔を算出する																											
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a) に適合する場合、合格とする。																											
測定器一覧	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																					測定に使用した機器について一覧に記載すること（自社保有設備も可） 照度分布を計算したソフトウェアも含む
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																								
測定結果	・電力会社申請入力容量 ()VA ・設置間隔 B⁺ ()m ・ランク ()																											
技術解説資料	・光度値データ(IES 形式の電子データも提出のこと) ・照度分布図(平均水平面照度値、最小鉛直面照度値) 最低 3 灯以上で測定のこと。 照度分布図作成における光源の中心と道路端との距離を記載のこと。*1 SES1901-4 の条件(路面反射率・保守率・設置高さ・道路幅)記載のこと。		*1:付属資料 「照度分布図作成における光源の中心と道路端との距離」書式使用の事																									
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																											
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 取扱説明書 <input type="checkbox"/> カタログ <input type="checkbox"/> HP 掲載内容のコピー <input type="checkbox"/> 技術解説資料等 <input type="checkbox"/> IES 形式の電子データ																											
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																											
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)																											

注⁽¹⁾ JIS C 8105-5 は照明器具—第 5 部:配光測定方法である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.6 上方光束比		備 考																				
a)	上方光束比は、照明器具を水平に設置したとき、5%以下 でなければならない。																						
b)	試験方法は、JIS C 8105-3 の E.5.2 ⁽¹⁾ によって求めた光度値を使い、上方光束比を算出する。測定条件は、JIS C 8105-3 の付属書 F ⁽²⁾ による。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a) に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・上方光束比()% ・全光束 ()lm ・上方光束()lm																						
技術解説資料	・光度値データ																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー [] 技術解説資料等																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

注⁽¹⁾JIS C 8105-3 の E.5.2 は配光特性, 最大光度値及びビーム角又はビームの開きである。注⁽²⁾JIS C 8105-3 の付属書 F は LED 照明器具の特性測定方法である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.7 自動点滅機能		備 考																				
a)	自動点滅機能を有する照明器具は、5 lx～100 lx にて点灯し、点灯照度の 5 倍以下にて消灯しなければならない。																						
b)	自動点滅機能の試験は、JIS C 8369 の 8.5 ⁽¹⁾ による。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a)に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・点灯照度 ()lx ・消灯照度 ()lx																						
技術解説資料	必要なし																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格／自動点滅機能を有しないため対象外																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)																						

注⁽¹⁾JIS C 8369 の 8.5 は光電式自動点滅器の点滅動作試験である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.8 メディアン光束維持時間 (使用 LED パッケージ型名:)		備 考																				
a)	LED モジュールの定格メディアン光束維持時間は、定格寿命 40,000 時間以上であり、定格寿命の 1/4 の点灯時間における光束維持率が 91.5%以上であること。		LED パッケージが複数ある場合、パッケージ型式毎に、本項目 (5.3.8 メディアン光束維持時間) を対象枚数作成する事																				
b)	LED モジュールの光束維持率試験は、 B.4 ⁽¹⁾ による。また、この試験データを照明器具内で点灯している LED モジュールの寿命データとして使うために、照明器具及び LED モジュールの温度について、 B.2 ⁽²⁾ に規定する温度を提示し、その値は、 B.3 ⁽³⁾ の条件に適合しなければならない。																						
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載する事(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	<p>・定格メディアン光束維持時間: () 時間</p> <p>・定格メディアン光束維持時間の 1/4 である () 時間における光束維持率: () %</p> <p>・合格/不合格(該当する項目を○で囲む)</p> <p>・照明器具の定格最高周囲温度 T_a : () °C</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定内容</th> <th>パッケージメーカー条件値*1</th> <th>照明器具の点灯時の実測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定格周囲温度</td> <td>-</td> <td>() °C *2</td> </tr> <tr> <td>LED パッケージ指定箇所温度 T_s</td> <td>() °C</td> <td>() °C</td> </tr> <tr> <td>LED パッケージ駆動電流 I_f</td> <td>() mA</td> <td>() mA</td> </tr> </tbody> </table> <p>・試験方法: 定格寿命の 1/4 の点灯時間における光束維持率が 91.5%以上であることを証明するため以下の試験方法の内いずれか該当する□にチェックする事</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>(1) 附属書 B.4: LED モジュール光束維持率試験: 附属書 A.2 の a) の最終試験の光束維持率試験結果</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>(2) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命⁽⁴⁾の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがある場合。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>(3) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命⁽⁴⁾の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがない場合。</td> </tr> </tbody> </table>		測定内容	パッケージメーカー条件値*1	照明器具の点灯時の実測値	定格周囲温度	-	() °C *2	LED パッケージ指定箇所温度 T_s	() °C	() °C	LED パッケージ駆動電流 I_f	() mA	() mA	<input type="checkbox"/>	(1) 附属書 B.4: LED モジュール光束維持率試験: 附属書 A.2 の a) の最終試験の光束維持率試験結果	<input type="checkbox"/>	(2) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命 ⁽⁴⁾ の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがある場合。	<input type="checkbox"/>	(3) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命 ⁽⁴⁾ の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがない場合。	<p>定格メディアン光束維持時間を宣言する事</p> <p>*1: 光束維持率の測定条件の値</p> <p>*2: T_a を基準にした値</p>		
測定内容	パッケージメーカー条件値*1	照明器具の点灯時の実測値																					
定格周囲温度	-	() °C *2																					
LED パッケージ指定箇所温度 T_s	() °C	() °C																					
LED パッケージ駆動電流 I_f	() mA	() mA																					
<input type="checkbox"/>	(1) 附属書 B.4: LED モジュール光束維持率試験: 附属書 A.2 の a) の最終試験の光束維持率試験結果																						
<input type="checkbox"/>	(2) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命 ⁽⁴⁾ の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがある場合。																						
<input type="checkbox"/>	(3) 附属書 B.4.1: LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの定格寿命 ⁽⁴⁾ の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがない場合。																						
技術解説資料	<p>(1)の場合: 定格メディアン光束維持時間の 1/4 の点灯時間時の光束維持率の実データ。(2)の場合: LED パッケージメーカーの定格寿命⁽⁴⁾の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データ。</p> <p>(3)の場合: ①LED パッケージメーカーの定格寿命⁽⁴⁾(1/4 に満たなくても最低 6,000 時間以上の光束維持率の実データ) 及び ②定格寿命の 1/4 の点灯時間における光束維持率が 91.5%以上であることを説明する資料。</p>		(3)①②の資料は、付属資料「寿命に関する説明資料」書式使用の事																				
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格/不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) []仕様書 []取扱説明書 []カタログ []HP掲載内容のコピー []技術解説資料等																						
仕様書・取扱説明書・HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

注⁽¹⁾B.4(LED モジュールの光束維持率試験)、注⁽²⁾B.2(照明器具及び LED モジュールの性能に関する温度項目)、注⁽³⁾B.3(点灯している照明器具内での LED モジュールの温度)は、JLMA 性能要求指針の附属書 B 高品質 LED 照明器具に用いる LED モジュールに規定されている。注

⁽⁴⁾ LED パッケージメーカーの実測寿命データは LED メーカーより入手した実データの資料であること。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】					測定日	年 月 日																				
会 社 名:																										
部 署:																										
性 能 項 目	共通機能 5.3.9 耐久性					備 考																				
a)	照明器具は、JIS C 8105-1 の 12.3(耐久性試験)に適合すること。 試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが要求に適合する場合、合格とする。 ただし、附属書 E(高品質 LED 照明器具の耐久性試験の区分)により、同一区分の基準製品の試験データを使うことができる。																									
b)	LED モジュールは、JIS C 8105-3 の E.7.3 ⁽¹⁾ に適合すること。 試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが要求に適合する場合、合格とする。																									
c)	LED モジュール用制御装置は、D.2 ⁽²⁾ に適合すること。 試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが要求に適合する場合、合格とする。 ただし、D.3 ⁽²⁾ により、同一区分の基準製品の試験データを使うことができる。																									
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>					No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																						
測定結果	<input type="checkbox"/> LED モジュール用制御装置の Tc を規定する ・照明器具の耐久性試験結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む) ・LED モジュールの耐久性確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む) ・LED モジュール制御装置の耐久性試験結果 異常なし／異常あり／非該当 (Tc を規定しないため)					LED モジュール用制御装置の Tc を規定しない場合は、3 つ目の制御装置の耐久性試験結果を非該当とする。																				
技術解説資料	・照明器具の耐久性試験結果 ・LED モジュールの温度サイクル試験結果 ・LED モジュールの電源開閉試験結果 ・LED モジュールの高温動作試験結果 (Tp rated に関する資料必須*1) ・LED モジュール制御装置の温度サイクル試験結果 (Tc を規定する場合必須) ・LED モジュール制御装置の電源開閉試験結果 (Tc を規定する場合必須)					*1: 付属資料「耐久性に関する説明資料」書式使用の事。 「Tc を規定する」場合、下2つは必須。																				
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																									
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類等を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー [] 技術解説資料等																									
仕様書・取扱説明書・HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																									
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																									

注⁽¹⁾JIS C 8105-3 の E.7.3 は、耐久性評価である。注⁽²⁾D.2(LED 制御装置の耐久性試験判定基準)は、JLMA 性能要求指針の付属書 D 高品質 LED 照明器具に用いる LED 制御装置の耐久性試験に規定されている。 D.3(LED 制御装置の耐久性試験の区分による試験の低減)は、JLMA 性能要求指針の付属書 D 高品質 LED 照明器具に用いる LED 制御装置の耐久性試験に規定されている。

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.10 耐サージ性能		備 考																				
a)	<p>耐サージ性能は、JIS C 61000-4-5⁽¹⁾に基づいて試験を行い、次に示すサージ試験電圧に耐えなければならない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>試験電圧印加箇所</th> <th>試験電圧(レベル X)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライン・ライン間</td> <td>2 kV</td> </tr> <tr> <td>ライン・接地間</td> <td>15 kV</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、試験は、交流電源波形の 90 度の位相角に正極性パルス を 5 回、270 度の位相角に負極性パルス を 5 回、印加する。</p>		試験電圧印加箇所	試験電圧(レベル X)	ライン・ライン間	2 kV	ライン・接地間	15 kV															
試験電圧印加箇所	試験電圧(レベル X)																						
ライン・ライン間	2 kV																						
ライン・接地間	15 kV																						
b)	試験の合否判定は、試験中及び試験後、光度のいかなる変化も許容され、ランプが消えてよいが、試験後 30 分以内に、全ての機能が正常状態に復帰しなければならない。必要であれば、一時的な電源の遮断、(光)制御動作のいずれか又は両方を行う。																						
c)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a) 及び b) に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・耐サージ性能確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む)																						
技術解説資料	必要なし																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 取扱説明書 <input type="checkbox"/> カタログ <input type="checkbox"/> HP 掲載内容のコピー																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)																						

注⁽¹⁾JIS C 61000-4-5 は、電磁両立性―第 4-5 部:試験及び測定技術―サージイミュニティ試験である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日
会 社 名:			
部 署:			
性 能 項 目	共通機能 5.3.11 安全性 その1	備 考	
a)	照明器具の安全性は、電気用品の技術の基準上の基準を定める省令に適合しなければならない。		
d)	試験サンプル数は、1 個以上として、全てが a) に適合する場合、合格とする。		
測定結果	・安全性確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む)		
料	必要なし		
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格		
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー		
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の() 頁() 行目などに上記項目の内容が記載されています。		
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)		

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式		】	測定日	年 月 日																				
会 社 名:																								
部 署:																								
性 能 項 目	共通機能 5.3.11 安全性 その2			備 考																				
b)	固形物及び水気の侵入に対する保護性能は、JIS C 8105-1 ⁽¹⁾ に規定する IP23 以上でなければならない。																							
d)	試験サンプル数は、1 個以上として、全てが b)に適合する場合、合格とする。																							
測定器一覧	<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>			No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																				
測定結果	・保護性能 IP() 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む)																							
技術解説資料	必要なし																							
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																							
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 取扱説明書 <input type="checkbox"/> カタログ <input type="checkbox"/> HP 掲載内容のコピー																							
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																							
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																							

注⁽¹⁾JIS C 8105-1 は、照明器具―第 1 部:安全性要求事項通則である。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																				
会 社 名:																							
部 署:																							
性 能 項 目	共通機能 5.3.11 安全性 その3		備 考																				
c)	取付部の機械的強度は、取付部から 100 mm の距離の箇所に、1 030 N の荷重を 1 分間印加し、安全を損なう変形があつてはならない。ただし、取付部からの突出が 100 mm 以下の照明器具は、照明器具の先端に荷重を印加する。																						
d)	試験サンプル数は、1 個以上として、全てが c) に適合する場合、合格とする。																						
測定器一覧	<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																			
測定結果	・性能確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む)																						
技術解説資料	必要なし																						
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																						
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 [] カタログ [] HP 掲載内容のコピー																						
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																						
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																						

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】					測定日	年 月 日																				
会 社 名:																										
部 署:																										
性 能 項 目	共通機能 5.3.12 高調波					備 考																				
a)	照明器具の入力電流の高調波は、JIS C 61000-3-2 ⁽¹⁾ に適合しなければならない ⁽²⁾ 。																									
b)	試験サンプル数は、1 個以上とし、全てが a)に適合する場合、合格とする。																									
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>					No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																						
測定結果	・定格電力:()W ・JIS C 61000-3-2 確認結果(定格電力 5W 未満は対象外) 異常なし／異常あり／対象外 (該当する項目を○で囲む)																									
技術解説資料	測定データの提出																									
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																									
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) <input type="checkbox"/> 仕様書 <input type="checkbox"/> 取扱説明書 <input type="checkbox"/> カタログ <input type="checkbox"/> HP 掲載内容のコピー <input type="checkbox"/> 技術解説資料等																									
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																									
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)																									

注⁽¹⁾JIS C 61000-3-2 は、電磁両立性－第 3-2 部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)である。

注⁽²⁾LED 制御装置が JIS C 61000-3-2 に適合している場合は、照明器具は要求事項を満足しているとみなす旨が JIS C 61000-3-2 の付属書 B.5.3(照明器具)に規定されている。

(申請者提出用様式 記載サンプル)

【LED 防犯灯】

技 術 報 告 書【型式】		測定日	年 月 日																									
会 社 名:																												
部 署:																												
性 能 項 目	共通機能 5.3.13 部品		備 考																									
a)	LED モジュール用制御装置の性能 1) LED モジュール用制御装置の tc(定格最高温度)を規定するもの LED モジュール用制御装置は、JIS C 8153 ⁽¹⁾ に適合しなければならない。 2) LED モジュール用制御装置の tc(定格最高温度)を規定しないもの LED モジュール用制御装置は、JIS C 8153 の箇条 8(全回路消費電力)、 JIS C 8153 の箇条 9(回路力率)及び JIS C 8153 の箇条 10(入力電流)に 適合しなければならない。 注記 tc (定格最高温度)を規定しないものについては、D.2 ⁽²⁾ の注記を参照。																											
b)	試験サンプル数は、1 個以上として、全てが a)に適合する場合、合格とする。																											
測定器一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>機器名称</th> <th>品番</th> <th>製造会社</th> <th>校正年月 (購入年月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																					測定に使用した機器について一覧に記載すること(自社保有設備も可)
No	機器名称	品番	製造会社	校正年月 (購入年月)																								
測定結果	<input type="checkbox"/> LED モジュール用制御装置の tcを規定するもの ・JIS C 8153 確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む) <input type="checkbox"/> LED モジュール用制御装置の tcを規定しないもの ・JIS C 8153 の箇条 8(全回路消費電力)確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む) ・JIS C 8153 の箇条 9(回路力率)確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む) ・JIS C 8153 の箇条 10(入力電流)確認結果 異常なし／異常あり (該当する項目を○で囲む)																											
技術解説資料	必要なし																											
総合評価	総合評価は、下記のとおりです。(該当する項目を○で囲む) 合格／不合格																											
機能表示書類	下記書類の中で○印の書類を添付します。(複数ある場合は代表で可) [] 仕様書 [] 取扱説明書 []カタログ [] HP 掲載内容のコピー																											
仕様書 取扱説明書 HP 掲載	機能表示書類の()頁()行目などに上記項目の内容が記載されています。																											
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 測定責任者: (電子入力で代用可: 自筆不要)																											

注⁽¹⁾JIS C 8153 は、LED モジュール用制御装置一性能要求事項である。注⁽²⁾D.2(LED 制御装置の耐久性試験判定基準)は、JLMA 性能要求指針の付属書 D 高品質 LED 照明器具に用いる LED 制御装置の耐久性試験に規定されている。

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊

技術報告書 6 表示

6.1 本体表示

本体には、次の項目を表示していることを確認して○印を記述した通りです。

表 1 本体表示事項の該当一覧表

項 目	確認結果	備考
(1) 電気用品安全法に規定する項目		
(a) PSE マーク		
(b) 製造事業者名又はその略称		
(c) 定格電圧		
(d) 定格消費電力		
(e) 定格周波数		
(f) 屋外用の旨		
(2) JIS C 8105 に規定する項目のうち以下のもの		
(a) 製造年又はその略号		
(b) 製造業者の形番		
(c) 定格最高周囲温度		
(d) IP コード		
(e) 入力電流		記載が望ましい
(3) 電力会社申請入力容量		
(4) RBSS マーク		
(5) 上記表示内容(主銘板、その他)が判るコピーを添付します。		写真又は銘板内容が記載されたカタログなどのコピーを添付すること

[表示内容(主銘板、その他)は以下に添付]

6.2 説明書などの表示事項

取扱説明書・取付説明書及びカタログ・ホームページなどへの表示事項は、表 2 の各欄に○印を記述した通りです。（注記 基準書の表 2 の左欄「○」については必須として、ドラフト案を含めた申告を記載すること。）

表 2 説明書などの表示事項の該当一覧表

項 目	取扱説明書などへの表示事項 ⁽¹⁾		カタログ・ホームページなどへの表示事項		備 考
	表示基準	申告	表示基準	申告	
(1) 品名・品番	○		○		<6.1 で確認>
(2) 各部名称	○		—		
(3) 機能、主な仕様					
(a) 定格・性能など(定格電圧、定格電流又は定格消費電力、定格周波数)	○		○		<6.1 で確認>
(b) 保護等級 (IP コード)	記載が望ましい		○		該当ページを本備考欄に記載のこと
(c) 使用温度範囲	○		○		該当ページを本備考欄に記載のこと
(4) 取付方法、配線方法	○		記載が望ましい		該当ページを本備考欄に記載のこと
(5) 取扱注意事項	○		—		該当ページを本備考欄に記載のこと
(6) 保守・点検方法	記載が望ましい		—		該当ページを本備考欄に記載のこと
(7) 不具合などのトラブルに対する対策法	記載が望ましい		—		該当ページを本備考欄に記載のこと
(8) 免責事項	—		○		防犯事項 ⁽²⁾ について
(9) 問合せ窓口 ⁽³⁾	○		○		該当ページを本備考欄に記載のこと
(10) RBSS マークについて	—		○ ⁽⁴⁾		該当ページを本備考欄に記載のこと RBSS マーク説明、型式近傍表示

注 ⁽¹⁾	購入後に情報提供される書類
注 ⁽²⁾	免責事項の例:RBSS 機器認定の適合商品について (カタログなどに記載する例) 【本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。】
注 ⁽³⁾	住所、部署名、電話、FAX、受付時間など
注 ⁽⁴⁾	RBSS マークは、カタログの品番の周辺に表示を必ず行うこと。 さらに RBSS マークの説明、注 ⁽²⁾ で示した RBSS 認定品に関する免責事項、を任意のページの一ヶ所に必ず表示することを原則とする(但し、HP については、当面“記載が望ましい”範囲として取扱う)。

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊

付属資料 技術解説資料サンプル

“技術解説資料による補足説明”が必要な場合や、“変更申請”の変更前後の説明に、本様式を参考にしてください。（サンプルですので書式は自由です。）

（申請者提出用様式（例） 技術解説資料 記載サンプル）

技 術 解 説 資 料【型式		記述日	年 月 日
会 社 名:			
所属部署:			
性 能	5.* □□□□□□□□		
項 目	5.*.* □□□□□□□□		
技術解説の名称			
技術概要	特徴 (1) (2) (3) (4) (5) 例:本欄には、独自方式等の特徴を箇条書きに記述してください。		
技術解説・工夫している要点等	独自方式……の要点 (1) (2) (3) (4) (5) 例:本欄には、独自方式等で技術解説する論理的な動作・機能、及び工夫している要点等を箇条書きしてください。		
実機評価・測定結果による確認結果	(1) 実機による評価・判定方法 (2) 測定結果 例:本欄には、独自方式等の評価・判定方法や測定結果(具体数値等)を箇条書きしてください。		
責任者押印等	上記内容を申請いたします。 責任者: (電子入力で代用可:自筆不要)		

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊（申請者提出用様式例）
技術解説資料 記載フォーマット
付属資料 1 「メディアン光束維持時間に関する説明資料」
定格メディアン光束維持時間の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがない場合

技 術 解 説 資 料【型式】		記述日	年 月 日
性能項目	5.3.8 メディアン光束維持時間		

LED パッケージ メーカー	
LED パッケージ型名	

1. 目的
- ・定格メディアン光束維持時間()時間、定格メディアン光束維持時間の 1/4 である()時間時の光束維持率が 91.5%以上であること
を証明する。

2. 申請照明器具に関する諸条件
- ・照明器具の定格最高周囲温度: Ta()℃
 - ・照明器具の点灯時の実測値: Ts()℃、If()mA

<Ts パッケージメーカー指定箇所を具体的に図示>

3. LED パッケージ メーカーより光束維持率実測データ
- ・パッケージメーカー条件値: Ts()℃、If()mA
 - ・下記に上記条件に基づいた光束維持率実測試験データを添付する。
(期間は 6,000 時間以上、1,000 時間毎にプロットしたデータ)



4. 光束維持率条件における駆動電流値および指定箇所温度の比較判定

LED パッケージメーカと申請照明器具測定値比較表

LED 駆動条件	パッケージメーカ 条件値	判定符号	照明器具の点灯時の 実測値
指定箇所温度:Ts	()℃	≥	()℃
駆動電流値:If	()mA	≥	()mA

判定:Ts および If は、LED パッケージメーカ(測定条件値)以下であること。

【結果判定】:合／否

Ts 温度および駆動電流 If は、LED パッケージメーカ(測定条件値)以下で基準を満足する。

5. 光束維持率の推移予測

(6,000 時間データしかない場合は下記の通り)

- ・定格メディアン光束維持時間の 1/4 の点灯時間()h)時点における光束維持率の推定方法:
JIS C 8152-3:光束維持率の測定方法の付属書 B B.2.4 TM-21 による光束維持率の推定方法 b)を引用。
メディアン光束維持時間推定に使用するデータは、グラフ 1 実測値の最後から 5,000 時間分のデータを用い、
1,000 時間までのデータは使用せず、1,000 時間から 6,000 時間の実データを直線近似式【光束維持率 $\Phi(t)$
= $B \times \exp(-a \cdot t)$ 】より LED パッケージメーカの定格メディアン光束維持時間 1/4 時間()時点の推定光束
維持率を算出する。

グラフ2: 定格メディアン光束維持時間 1/4 時間時点の光束維持率推定曲線

※1パッケージメーカの光束維持測定時の試験条件

【結果判定】:合／否

- ・定格メディアン光束維持時間()時間の 1/4 ()h)における光束維持率は、上記グラフ2より、
()%である。従って、規格値の 91.5%以上を満たす

承認者	担当者

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊（申請者提出用様式例）

技術解説資料 記載フォーマット記入要領および記入例

付属資料 1 「寿命に関する説明資料」 定格寿命の 1/4 の点灯時間における光束維持率の実データがない場合

技術解説資料【型式 BOUHANTOU-1 】	記述日	2016 年 11 月 30 日
性能項目	5.3.8 メディアン光束維持時間	

LED パッケージメーカー	○△工業株式会社
LED パッケージ型名	LED-A

1. 目的

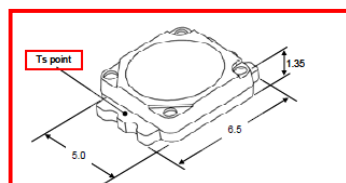
- ・定格メディアン光束維持時間(60,000)時間、定格寿命の 1/4 である(15,000)時間時の光束維持率が 91.5%以上であることを証明する。

注)LED パッケージメーカーの提供元がわかる光束維持率試験データをパッケージメーカーより入手し、添付する。

2. 申請照明器具に関する諸条件

- ・照明器具の定格最高周囲温度 T_a 温度(30)℃
- ・申請照明器具を定格電圧で点灯時の LED パッケージ駆動電流値 I_f : (140)mA
- 申請照明器具を定格電圧で点灯時の LED パッケージメーカー指定箇所の温度 T_s : (82)℃(Max 値)

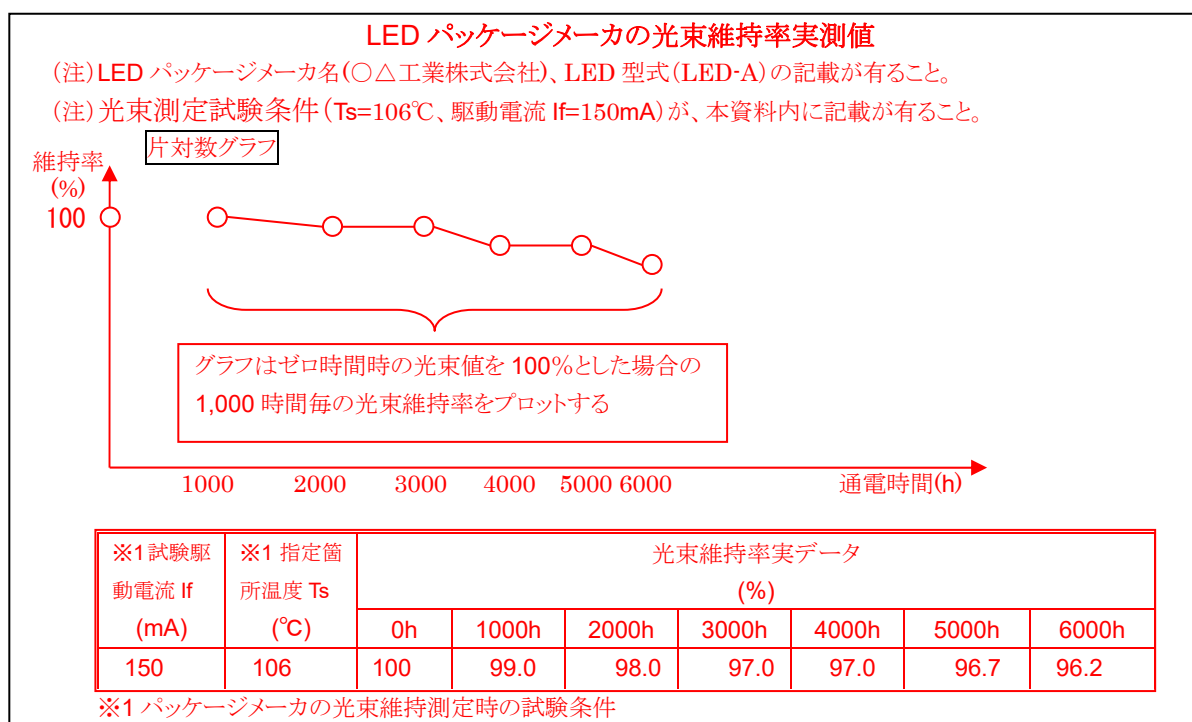
T_s 指定箇所
(一例)



3. LED パッケージメーカーより光束維持率実測データ

- ・搭載 LED パッケージメーカーの光束測定試験条件: T_s =(106)℃、駆動電流 I_f =(150)mA
- 以下、LED パッケージメーカーの光束維持率実測試験データを添付する。
- ・下記グラフは LED パッケージ光束維持率試験で LED パッケージメーカーの指定箇所 T_s (106℃時)、駆動電流 I_f (150mA) 条件における 6,000 時間まで実測光束維持率を 1,000 時間毎にプロットしたデータである。

注)LED パッケージは JIS C 8152-3 に従い測定されたデータであること。(推奨:LM-80 試験報告書が良い)



グラフ 1:LED パッケージメーカーの光束維持率実測値

4. 光束維持率条件における駆動電流値および指定箇所温度の比較判定

LED パッケージメーカと申請照明器具測定値比較表

LED 駆動条件	LED パッケージメーカ (測定条件値)	判定符号	申請照明器具 (実測値)
指定箇所温度:Ts	(106)°C	≥	(82)°C
駆動電流値:If	(150)mA	≥	(140)mA

判定:Ts 温度および駆動電流 If は、LED パッケージメーカ(測定条件値) 以下であること

【結果判定】:合/否

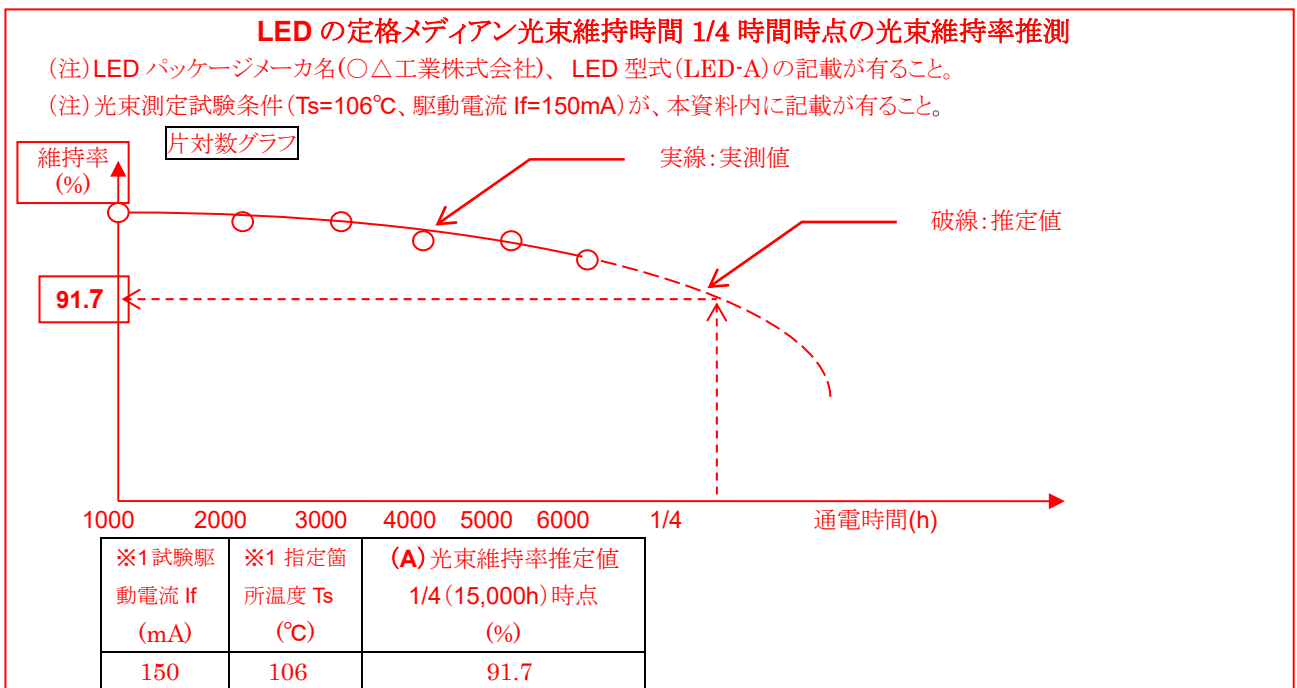
Ts 温度および駆動電流 If は、LED パッケージメーカ(測定条件値) 以下で基準を満足する。

5. 光束維持率の推移予測

(6,000 時間データしかない場合は下記の通り)

・定格メディアン光束維持時間の 1/4 の点灯時間(15,000h)時点における光束維持率の推定方法:

JIS C 8152-3: 光束維持率の測定方法の付属書 B B.2.4 TM-21 による光束維持率の推定方法 b) を引用。
メディアン光束維持時間推定に使用するデータは、グラフ 1 実測値の最後から 5,000 時間分のデータを用い、
1,000 時間までのデータは使用せず、1,000 時間から 6,000 時間の実データを直線近似式【光束維持率 $\Phi(t)$
= $B \times \exp(-a \cdot t)$ 】より LED パッケージメーカの定格メディアン光束維持時間 1/4 時間(15,000h)時点の推定
光束維持率を算出する。



グラフ2: 定格メディアン光束維持時間 1/4 時間時点の光束維持率推定曲線

※1パッケージメーカの光束維持測定時の試験条件

【結果判定】:合/否

・定格メディアン光束維持時間(60,000)の 1/4 (15,000h) 時における光束維持率は、上記グラフ2より、
(91.7)%である。従って、規格値の 91.5%以上を満たす。

承認者	担当者

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊（申請者提出用様式例）

技術解説資料 記載フォーマット

付属資料 2a 「耐久性に関する説明資料」 Tp rated の宣言がある場合

技 術 解 説 資 料【型式】		記述日	年 月 日
性能項目	5.3.9 耐久性 高温動作試験		

Tp rated を宣言し、それより 10K 以上高い温度で試験をする。

- ① 定格メディアン光束維持時間()時間を満足する LED モジュールの使用条件
- ・ (B)mA の時、Tp rated (A)°C 以下

Tp rated :LED モジュールの定格性能特性に関して、製造業者又は責任を持つ販売責任者が宣言した最高動作温度。

<Tp rated 指定箇所を具体的に図示>

	LED モジュール 条件値	判定符号	照明器具 点灯時の 実測値
定格周囲温度	-		Ta ()°C
LED モジュール 指定箇所温度:Tp	Tp rated (A)°C	≥	(a)°C
LED モジュール 駆動電流:If	(B)mA	≥	(b)mA

② 試験条件

- ・ (c) ≥ (A) + 10K
- ・ (b)mA を通電し、Tp(c)°C で 1,000 時間、点滅させること無く連続点灯させる。
- ・ 試験は LED モジュールでも器具込みでも可とする。

③ 結果

LED モジュールの初期光束 : ()lm
LED モジュールの試験後 光束: ()lm
変化率: ()%

④ 判定結果: 合格

変化率(光束低下率)20%以下の為、加速寿命試験判定基準を満たす。

承認者	担当者

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊（申請者提出用様式例）

技術解説資料 記載フォーマット

付属資料 2b 「耐久性に関する説明資料」 Tp rated の宣言がない場合

技 術 解 説 資 料【型式		記述日	年 月 日
性能項目	5.3.9 耐久性 高温動作試験		

照明器具の点灯時の Ts より 10K 以上高い温度で試験をする。

- ① 定格メディアン光束維持時間()時間を満足する LED パッケージメーカーの測定条件
・(B)mA の時、Ts(A)℃以下

	LED パッケージメーカー の測定条件値	判定符号	照明器具の点灯時の 実測値
定格周囲温度	-		Ta ()℃
LED パッケージ 指定箇所温度:Ts	(A)℃	≥	(a)℃
LED パッケージ 駆動電流:If	(B)mA	≥	(b)mA

照明器具の点灯時の **Ts** は、モジュール内パッケージの最高温度とする

- ② 試験条件
- ・(c) $\geq (a) + 10K$
 - ・(b)mA を通電し、Ts(c)℃で 1,000 時間、点滅させることなく連続点灯させる。
 - ・試験は LED モジュールでも器具込みでも可とする。

- ③ 結果
- | | | |
|------------------|------|-------|
| LED モジュールの初期光束 | : | ()lm |
| LED モジュールの試験後 光束 | : | ()lm |
| 変化率: | ()% | |

- ④ 判定結果：合格
変化率(光束低下率)20%以下の為、加速寿命試験判定基準を満たす。

承認者	担当者

RBSS（優良防犯機器認定基準）LED 防犯灯認定基準 別冊（申請者提出用様式例）

技術解説資料 記載フォーマット 記入要領および記入例

付属資料 2b「耐久性に関する説明資料」Tp rated の宣言がない場合

技 術 解 説 資 料【型式 】		記述日	年 月 日
性能項目	5.3.9 耐久性 高温動作試験		

照明器具の点灯時の Ts より 10K 以上高い温度で試験をする。

記入例：LED パッケージメーカーの測定条件値 A を 106℃、B を 150mA とした場合

- ① 定格メディアン光束維持時間(60,000)時間を満足する LED パッケージメーカーの測定条件
 ・(150)mA の時、Ts(106)℃以下

	LED パッケージメーカー の測定条件値	判定符号	照明器具の点灯時の 実測値
定格周囲温度	-		Ta (30)℃
LED パッケージ 指定箇所温度:Ts	(106)℃	≥	(82)℃
LED パッケージ 駆動電流:If	(150)mA	≥	(140)mA

照明器具の点灯時の Ts は、モジュール内パッケージの最高温度とする

- ② 試験条件
 ・(92) ≥ (82) + 10K
 ・(140)mA を通電し、Ts(92)℃で 1,000 時間、点滅させること無く連続点灯させる。
 ・試験は LED モジュールでも器具込みでも可とする。

- ③ 結果
 LED モジュールの初期光束 : ()lm
 LED モジュールの試験後 光束: ()lm
 変化率: ()%

- ④ 判定結果: 合格
 変化率(光束低下率)20%以下の為、加速寿命試験判定基準を満たす。

承認者	担当者

注記 RBSS 認定基準書作成 WG の構成委員は割愛する。

【改訂履歴】改正・追加・訂正・削除などの履歴

(9)2025.6.1 改正(一般社団法人日本照明工業会の指針である「ガイド A137-3 高品質 LED 防犯灯の性能要求指針 第2版」の制定に伴う変更)

- ・ 5.3.9 耐久性
LED モジュールの温度サイクル試験を追加

(8)2019.9.17 改正(高調波 JIS 改定に伴う技術報告書の変更)

- ・ 5.3.12 高調波：測定結果：
【変更前】・定格電力：() W
・ JIS C 61000-3-2 確認結果(定格電力 25W 以下は対象外)
異常なし／異常あり／対象外 (該当する項目を○で囲む)
【変更後】・定格電力：() W
・ JIS C 61000-3-2 確認結果(定格電力 5W 未満は対象外)
異常なし／異常あり／対象外 (該当する項目を○で囲む)

(7)2018.8.8 改正

- ・ 5.3.5 設置間隔性能及び照度基準：技術解説資料「照度分布図作成における光源の中心と道路端との距離を記載のこと。*1」を追加
- ・ 付属資料：「照度分布図作成における光源の中心と道路端との距離」を追加。

(6)2016.12.2 改正

- ・ 目次：24 頁以降を追加。責任者押印欄：6 頁以降の備考欄にあった押印欄を削除。
- ・ 5.3.8 寿命：測定結果：4 行目「照明器具の定格最高周囲温度 Ta：() °C」を追加。測定内容の表の変更。備考欄に「*1：光束維持率・・・ *2：Ta を基準・・・」を追加。技術解説資料：備考欄に「(3) ①②の資料は、・・・」を追加。
- ・ 5.3.9 耐久性：技術解説資料：3 行目の「LED モジュールの加速寿命試験結果」に「Tprated に関する資料必須*1」を追加。備考欄に「*1:付属資料・・・」を追加。
- ・ 付属資料：「寿命に関する説明資料」及び「耐久性に関する説明資料」を追加。

(5)2015.10.9 改正

- ・ 5.3.11 安全性その 2：測定結果「保護性能 IP ()」を追加。
- ・ 5.3.12 高調波：機能表示書類「[]技術解説資料等」を追加。

(4)2014.12.3 改正

- ・ 5.3.5 設置間隔性能及び照度基準：技術解説資料「最低 3 灯以上で測定のこと。SES1901-3 の条件(路面反射率・保守率・設置高さ・道路幅)記載のこと。」を追加。備考欄に記載の「IES 形式の電子データも提出」を左側の本文欄に記載。
- ・ 5.3.8 寿命：測定結果：定格寿命・光束維持率・周囲温度・駆動電流・指定箇所温度・試験方法を追加。技術解説資料：試験方法別の資料内容を明記。
- ・ 5.3.12 高調波：測定結果「定格電力：() W (定格電力 25W 以下は対象外) / 対象外」を追加。

(3)2014.10.10 改正

- ・ 5.3.9 耐久性：測定結果欄：「□LED モジュール用制御装置の Tc を規定しない」を「□LED モジュール用制御装置の Tc を規定する」に改定。備考欄に「LED モジュール用制御装置の Tc を規定しない場合は、3 つめの・LED モジュール用制御装置の耐久性試験結果を非該当とする。」を追加。・技術解説資料欄：「□」・「(必須)」を削除。「(Tc を規定しないため)」を「(Tc を規定する場合、必須)」に改定。備考欄に「測定結果で Tc を規定する場合は、下 2 つは必須。」を追加。

(2)2014.9.4 改正

- ・技術総括表：責任者押印欄変更
- ・5.3.1 固有エネルギー消費効率：測定結果：測定値の右に「() %」追加。
- ・5.3.5 設置間隔性能及び照度基準：測定結果：設置間隔 「B+」を「B⁺」に変更。
- ・5.3.9 耐久性：測定結果「□LED モジュール用制御装置の T_c を規定しない」を追加。
技術解説資料：「□」・「(必須)」・「(T_c を規定しないため)」を追加。

(1)2014.7.30 改正

- ・技術総括表：責任者押印欄変更
- ・5-2-2 関連規格 JIS C 8105-3 及び JIS C 8152-3 の追加。
- ・5.2.3 性能項目別の作成要領の注意点：4.測定器一覧：説明追加。
- ・5.3.12 高調波：測定器一覧：列追加「校正年月（購入年月）」。
- ・5.3.13 部品：測定器一覧：列追加「校正年月（購入年月）」。

RBSS 0004-10

LED 防犯灯認定基準 別冊

発行 2025 年（令和 7 年）6 月

編集 公益社団法人 日本防犯設備協会
RBSS 委員会（優良防犯機器委員会）

この基準は、著作権法で保護対象となっている著作物です。本書に記載の内容を転載される場合は、事前に(公社)日本防犯設備協会の承諾を得てください。

この基準についての意見又は質問は、(公社)日本防犯設備協会 RBSS 担当にご連絡ください。

発行所 公益社団法人 日本防犯設備協会

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-12-4（第 2 長谷川ビル）

TEL:03-3431-7301 FAX:03-3431-7304 E-mail : info@ssaj.or.jp